



## (2) 見学に行こう



### 店の人の工夫や努力

店員さんのあんないで、店の中を見学しました。売り場でも、とびらのおこうでも、たくさんの人がはたらいていました。  
店の人にインタビューしてみました。



#### 並べ方

おいしく見えるように、きれいに並べています。品物をきずつけないようにも気をつけています。



品切れにならないように気をつけています。足りなくなったらおくから運んでならべます。



#### 地域のやさいコーナー

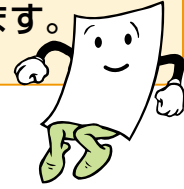
「地産地消」(地域でせいさんされた農作物をその地域で買うこと)を応援しています。





## ねだん

お客様がえらびやすいようにねだんや、品物の名前を大きく書いて見やすくしています。



## とびらのむこう

お客様の気に入ってもらえるようなおそうざいを工夫して作っています。また、おいしそうに見えるようにパックにつめています。



店長さんにもどんなことに気をつけているかインタビューしました。

## 店長さんの話

たくさんのお客様が買ってくださる食料品をあつかっているので、店員はいつも清けつをこころがけています。

お客様には気持ちよく買い物をしてもらえるよう、えがおも大切にしています。





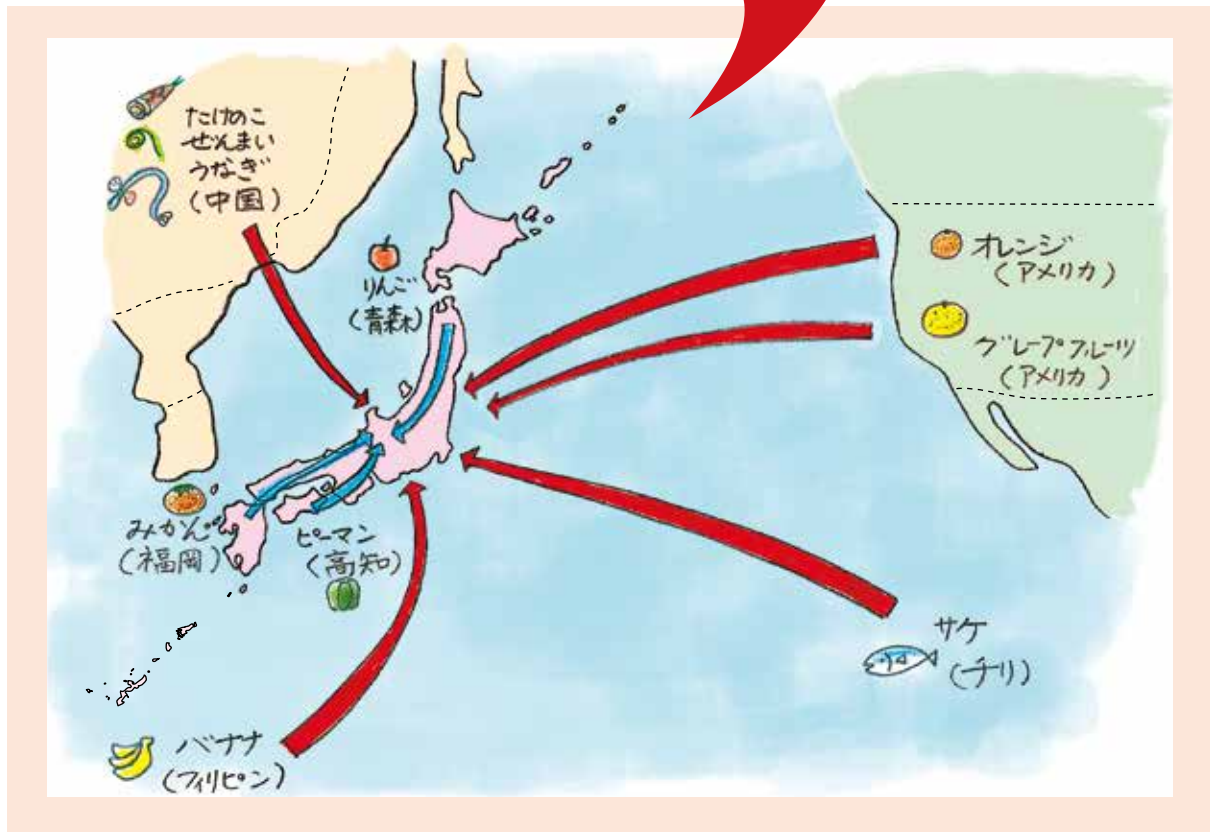


## しなものの品物はどこから

さつきさんたちは、店で売られている品物がどこから運ばれてきたのかを調べ、地図にまとめました。



いろいろなところから運ばれてくる品物



「近くの地域だけでなく、他の県や外国からも品物が運ばれてくるんだね。」



### 店長さんの話

店にある品物は、すべてコンピュータでかんりされています。何がどれだけ売れたかを調べて、次に注文する数をきめています。レジもコンピュータとつながっているんですよ。



### (3) じょうずな買い物<sup>もの</sup>をするために

じょうずな買い物<sup>もの</sup>をするために、どんなことに気をつけたらよいか考えてみましょう。



#### マイバッグ・エコバスケット

マイバッグやエコバスケットをもっていくと、レジ袋<sup>ぶくろ</sup>を使わずにすむね。

レジ袋<sup>ぶくろ</sup>のもとになる石油<sup>ゆ</sup>のむだづかいをふせいだり、ごみをへらしたりすることになるね。



#### トレー<sup>かいしゅう</sup>の回収

お店の中に、トレー<sup>かいしゅう</sup>の回収箱<sup>かいしゅう</sup>があり買い物<sup>もの</sup>のついでに出せるから便利<sup>べんり</sup>だね。

牛乳パック<sup>にゅう</sup>もリサイクルしているよ。



#### つめかえ商品

中身<sup>なかみ</sup>をつめかえると、容器<sup>ようき</sup>はそのまま使えるよ。容器<sup>ようき</sup>に使われるプラスチック<sup>つか</sup>をむだにしなくてすむね。



しょうみ きげん ひんしつひょうじ  
賞味期限や品質表示

ひんしつひょうじ  
品質表示を見ると作られた  
ばしょ ほぞんほうほう  
場所や保存方法がわかるよ。  
しょうみ きげん あんぜん  
賞味期限を見て新せんで安全  
なものを選びたいね。



もの  
インターネットでの買い物

インターネットでの買い物は、お金はあとで払うよ。  
ひつよう どうか お金を払えるかどうか考えて買い物をしたいね。



ひつようなりょう  
だけを買うとごみを  
へらせるね。

あんぜん  
新せんさや安全  
にも気をつけて買  
いたいね。



お店の人は、お店  
のもうけだけでなく  
かんきょう  
で、環境のことも考  
えて、しなもの  
品物を売って  
いるよ。

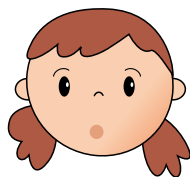
がわ  
かう側も、かんきょう  
環境の  
ことを考えながら買  
いもの  
物をしたいね。



# 3 <sup>しら</sup>調べよう <sup>もの</sup>物をつくる仕事



いろいろな<sup>もの</sup>物が  
つくられているね。  
だれがどのように  
つくっているのかな。





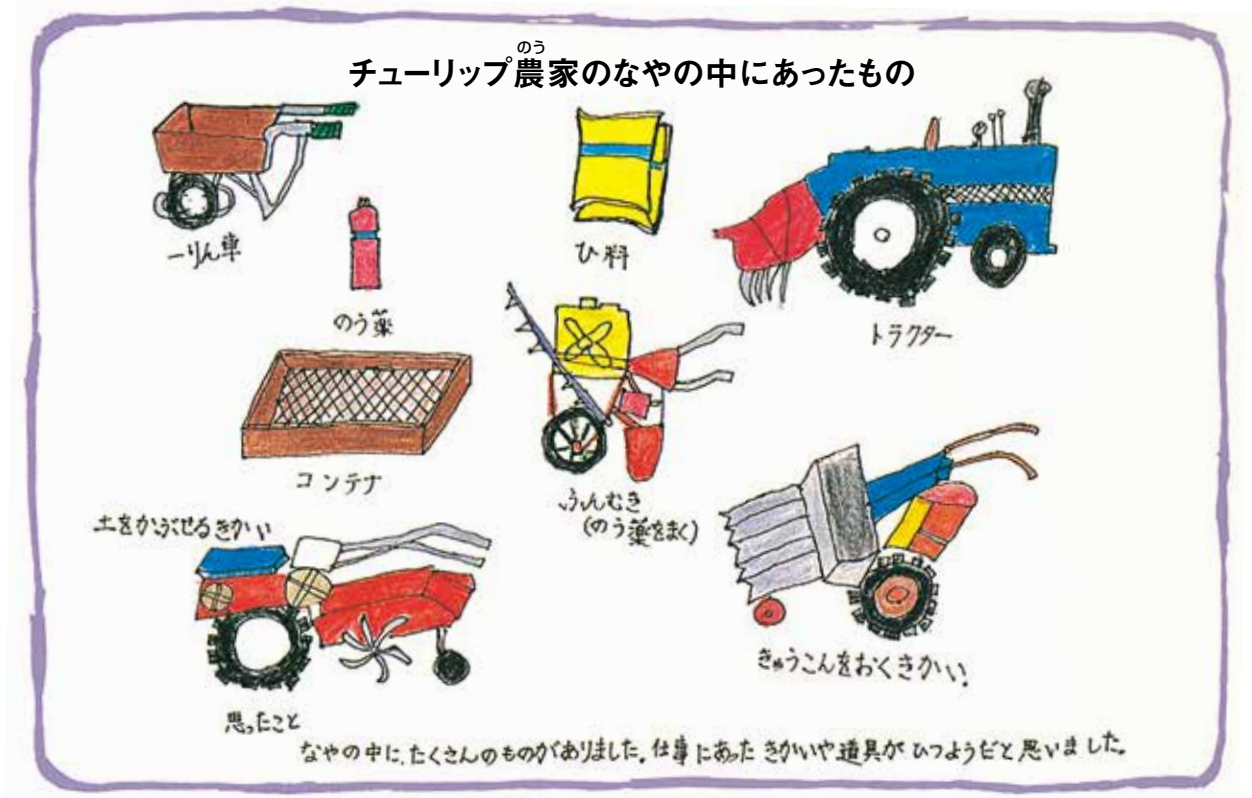
## (1) チューリップの球根さいばいきゅうこん

全国的にも有名となみのチューリップ球根さいばいについて調べてみました。

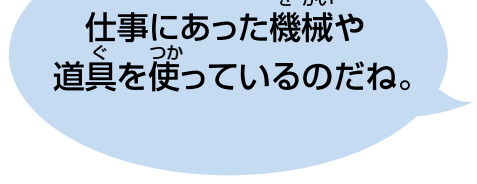


### チューリップを育てる農家をたずねてみようそだ のう か

のりおさんたちは、チューリップをさいばいしている農家へ出かけ、チューリップ球根づくりに使う道具や仕事について教えてもらいました。



これではやく仕事  
ができるんだね。



仕事にあつた機き械かいや  
道具ぐを使つかっているのだね。



# チューリップさいばいの手順 てじゆん

1. 球根を植える。(10月)



ひりょうをまき、球根を植えたあと、土を高く盛り上げます。

2. 冬をこす。(12～2月)



雪は、土の中が冷えすぎるのをふせいでくれます。球根がこおることはありません。

3. 農薬をかける。(3月～4月)



定期的に薬をかけて、病虫害をふせぎます。



6. 花をつむ。(5月)



5. 病気のかぶをぬく。



けんさを何度もして、しつこのよい球根をさいばいするようにします。

4. 花がさく。(4～5月)



7. 球根をほる。(6月中ごろ～)



8. 球根を水あらいする。



9. 球根をかんそうさせる。





10.サイズごとに分ける。



(7月中ごろ～8月)

花卉球根農業協同組合へ  
出荷する。



あつ  
集められた球根は全国  
に送られます。



## チューリップさいばいの一年

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
う 植え付け	土の中で冬をこす		のうやく 農薬を かける		花がさく	きゅうこん 球根を ほる	出荷				
					花つみ						

## チューリップさいばい農家の方の話



砺波市の気候はチューリップに合っているんだ。球根を植える頃には、根っこがのびるのにちょうどよい気温になるんだよ。冬にふる雪は、土の中が冷えすぎるのを防いで、寒さからほどよく守ってくれるよ。そのおかげで、チューリップは、土の中で、春に向けてじゅんびを進めることができるんだ。それに、土の水はけがよいので、球根が病気になりやすく、立派な花を咲かす球根に育つんだよ。

仕事はたいへんだけど、たくさんの人にチューリップを見て喜んでもらえるように、新しい種類のチューリップを育てることもがんばっているよ。砺波のチューリップを守っていきたいね。



きゅうこん  
球根組合をたずねてみよう

えりかさんたちは、<sup>おお かど</sup>大門にある<sup>か き きゅうこん のうぎょうきょうどうくみあい</sup>花卉球根農業協同組合へ行き、<sup>しごと</sup>組合の仕事や<sup>くふう</sup>チューリップをたくさん売る工夫について聞いてきました。



1. <sup>きゅうこん</sup>球根の<sup>びょう</sup>大きさと<sup>びょう</sup>病気やくさっているものがないかを見る。



2. <sup>きゅうこん</sup>球根をネットに入れ、ラベルをつける。



3. <sup>はこ</sup>きれいな箱につめる。



4. <sup>おく</sup>トラックにつんで売り先に送る。

水さいばい用や冬にさくチューリップも売り出されていたよ。  
試験場では、めずらしい形のチューリップや青色のチューリップをつくる実験をしているんだって。



こうすい せっ  
香水と石けん

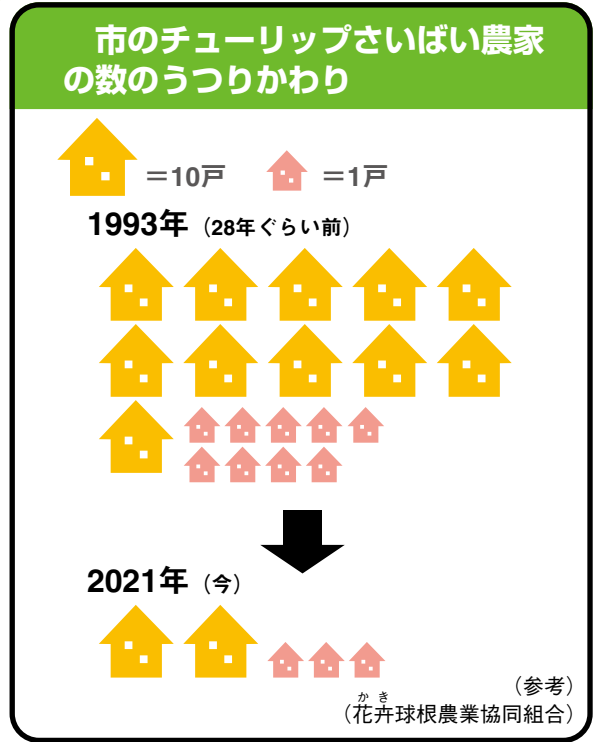
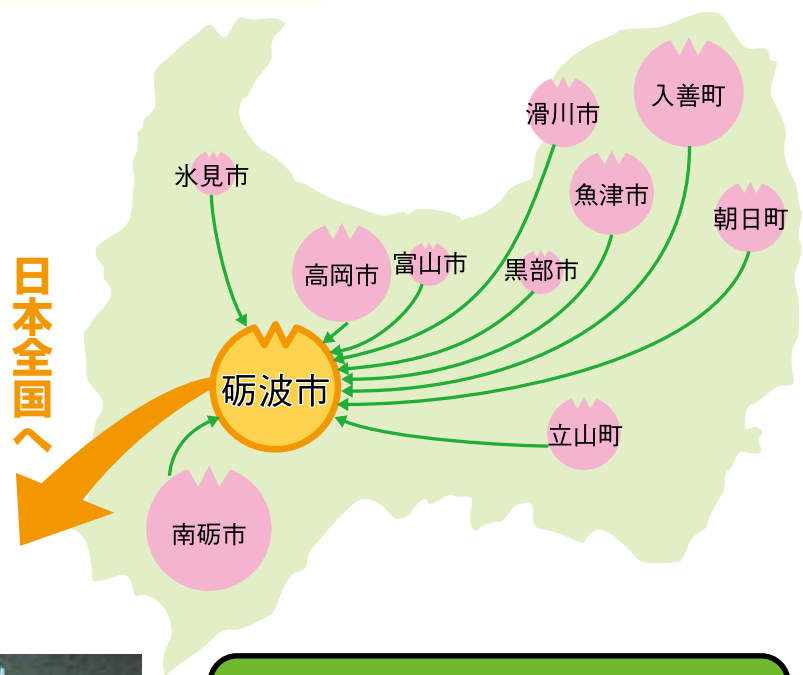
きゅうこん  
球根





チューリップのゆくえを調べよう

ちえ子さんたちは、  
 チューリップを育て  
 る仕事が、ほかの市  
 や町とどうつながっ  
 ているか花卉球根農  
 業協同組合の人の話  
 をしょうかいしなが  
 ら、発表しました。



県内の市や町でつくった球根も砺波の花き球根農業協同組合に運ばれてくるそうです。富山のチューリップは全国にその名を知られ、日本一の生産量をほこります。

チューリップさいばい農家の話

昔はたくさんのチューリップさいばい農家がありましたが、今ではすっかりへってしまいました。外国(オランダ)のねだんの安い球根がふえてきたことも、そのりゆうの一つです。でもわたしたちは、質のよい球根をつかって、多くの人たちにとどけていきたいと思っています。





## (2) 庄川ゆずさいばい

あやのさんは家族で、「庄川ゆずまつり」に行きました。こんなにたくさんのゆずは、どのようにしてつくられるのか調べてみました。

### ゆずさいばいの1年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	雪つり										雪つり
		えだ 枝きり									
					のう やく 農薬、ひりょうやり						
							てき果				
										しゅうかく	

雪つり  
ゆせ  
(11月～3月)



あやのさんの家では、11月の終わりから雪の重さに負けないように雪つりをして枝を守ります。1本1本ていねいにゆずを雪から守っていきます。

枝きり  
えだ  
(3月～4月)



3月になり、雪がとけてくると、枝を切って日当たりをよくします。

てき果  
か  
(8月)



5月になり、ゆずの花がさくころになると薬をまいたり、ひりょうをやったりします。薬は1年に4回、ひりょうはだいたい年に3回やります。

夏になり、青い実をつけるころ、実を取って数をへらします。1つ1つの実を大きく育てるためです。

しゅうかく  
(10月～12月)



秋になっていよいよしゅうかくです。ゆずははさみで切ります。ゆずの木には、するどいとげがあるので、実をきずつけないようにします。



とれたゆずは、ゆず選果場に運ばれ、大きさに分けられます。



ゆずは、3L・2L・L・M・Sの5しゅるいの大きさに分けられるそうだよ。



ゆず加工センターでは、ゆずを使って、ゆずみそやゆずジュースなど、いろいろなものを作っているよ。他にどのようなものに加工されているか調べてみよう。



となみ野農業協同組合の方に話をうかがいました。

### となみ野農業協同組合の方のお話

昭和45年にお米の生産を調整するためにゆずの苗木を植え、その後ゆずを庄川町の木に指定して産地となるように努力してきました。実がなるまで18年間もかかるのです。ゆずにとって一番大切なのは、日光です。ちょうど庄川町の南がわの山は、ゆずを育てるのにつごうがよかったのです。また、南風がしものひがいから守ってくれます。

庄川のゆずは3ヘクタール、ゆずの木は約950本あります。

庄川ゆずは、皮がでこぼこしていますが、香りもさん味もよく、特上品であるとひょうばんがいいです。

これからも、しつのよいゆずをつくるよう努力していきます。

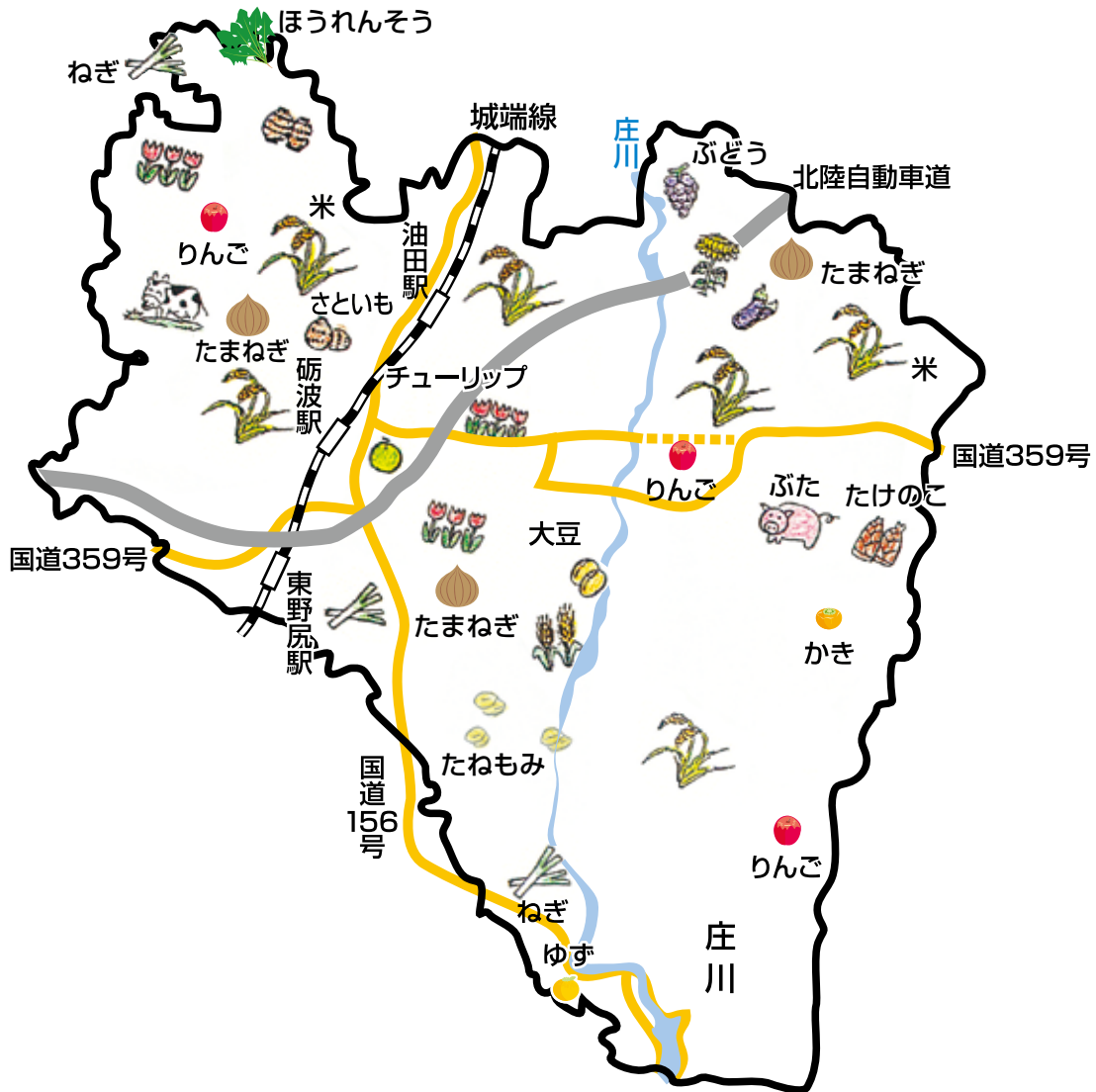
11月のしゅうかくの時期は、一番うれしいときです。





### のう さんぶつ (3) 砺波市の農産物

砺波市では、チューリップやゆずのほかにいろいろなものをつくっています。

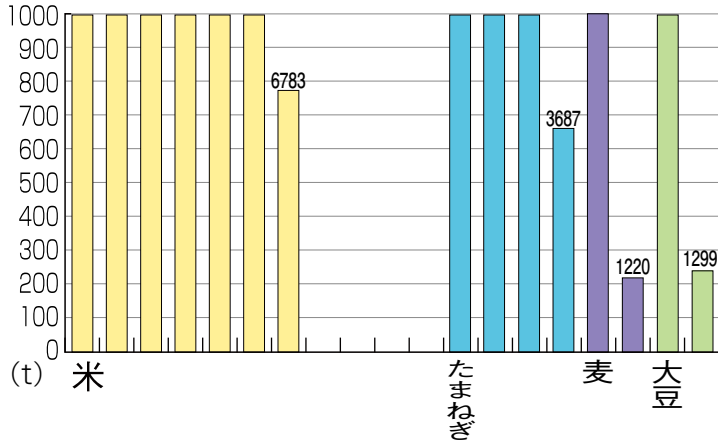


「市全体にわたって、お米を中心とした農業がさかんだね。おいしいお米が多く取れるのは、庄川のせんじょう地で土がこえていることや、平野全体にはりめぐらされた用水路があるからです。」

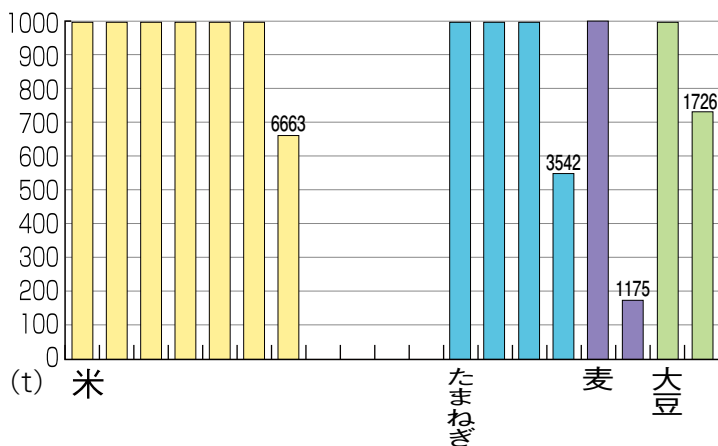


市の主な農産物の出荷量 しゅつかりょう

■令和2年度(2020年度)

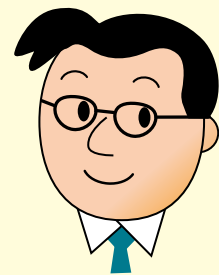


■平成29年度(2017年度)

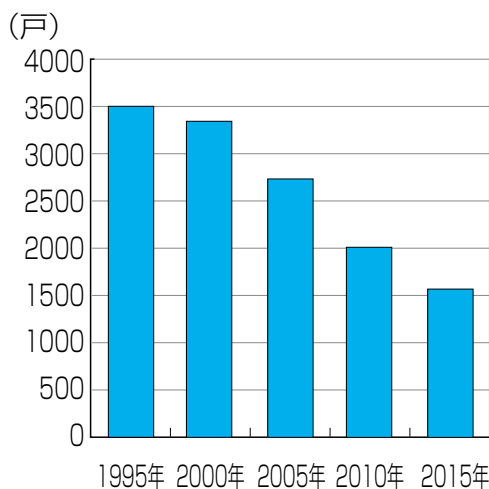


(令和2年度となみ野農業協同組合)

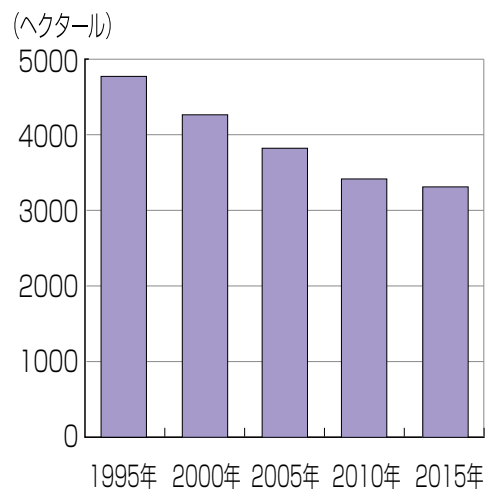
のうぎょう  
 砺波市の農業  
かんけい  
 に関するグラフ  
 を見て、気づいたこと  
 や思ったことをみんな  
 で話し合ひましょう。  
すうち へんか ちゅうもく  
 数値の変化に注目し  
 ましょう。



農家で働く人のうつりかわり はたら



田や畑の広さのうつりかわり



(平成27年度 農林業センサス富山県統計書より)



## (4) 大門<sup>おおかど</sup>そうめんづくり

みんなで丸く<sup>まる</sup>たばねた形の手づくりのそうめんを食べました。たかしさんたちは大門<sup>おおかど</sup>地区で昔<sup>むかし</sup>からさかんにつくられているそうめんについて<sup>しら</sup>べてみました。



①

① 小麦<sup>むぎ</sup>こをこねる



② 機械<sup>きかい</sup>でのばす



③ 手足でのばす



④ 半<sup>はん</sup>かわきにする



⑤ 丸くたばねる



⑥ つつんでかんそうする



②



③



④